

紫藤通信



第68回

紫藤祭

吹奏楽部をはじめ、ステージ発表団体によるファンファーレが開幕の合図となり、曇り空も晴れ渡るような盛り上がりの中、山村国際高等学校第六十八回紫藤祭が開会した。昨年に引き続き、九月七日(土)・八日(日)の二日間にわたって開催され、校内では生徒の熱気ある発表や工夫を凝らした様々な催しが行われた。

各クラスの模擬店は、いつも通り山村国際らしさが表現されたものであり、文化部では書道、



- 各賞の受賞は次の通り
- 紫藤賞 吹奏楽部
- ステージ賞 ダンス部
- 企画賞 写真部
- 装飾賞 三年六組
- クラスTシャツ賞 二年八組
- ポスター 神田 祐実

イラスト、華道、写真部が日ごの成果である素晴らしい作品の数々を展示した。

二日目は台風の接近に伴い、雨の中の文化祭となったが、「今から晴れるよ」と言わんばかりの元気な生徒の声と笑顔で校舎内は活気に満ち溢れた。台風の影響で中止も懸念されていた文化祭だったが、予定通り開催することができて心からほっとしている。

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamamura-kokusai.ed.jp>

後世に伝えたい日本のスポーツ文化

校長 中山達朗

戦後日本の復興を象徴した第18回東京オリンピック・パラリンピック大会から今日まで、スポーツに対する関心は年々高まり、日本の文化として国民生活に根付きました。特に、今回行われたラグビーワールドカップ日本大会は、熊谷市をはじめどの会場も大勢の方が訪れ、テレビの視聴率も高く、世界から見た日本のラグビー界発展に大きく貢献した大会となりました。

さらに「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を控え、大会運営に係るボランティアの育成や地元坂戸市も聖火リレーのルートとしての準備を進めるなど大会の成功に向けて各方面からの気運は、一層高まりをみせています。

このように、国際大会をはじめ国内で開催される各種大会を間近に見聞することで、そこで得たレガシーを次世代に引き継ぎ、さらに日本のスポーツ文化を発展させることが大切なのではないかと考えます。

日本並びに埼玉県 開催の主な大会

- 1964年 第18回 オリンピック・パラリンピック 東京大会(東京・埼玉・神奈川)
- 1967年 第22回 国民体育大会(埼玉)
- スローガン 「成功させよう埼玉国体」
- 1972年 第11回 オリンピック冬季札幌大会(札幌)
- 1998年 第18回 オリンピック冬季長野大会(長野)
- 2002年 2002 FIFAワールドカップ サッカー大会
- (韓国・東京・埼玉・神奈川)
- 2004年 第59回 国民体育大会(埼玉)
- 彩の国まごころ国体 スローガン 「とどけ この夢 この歓声」
- 2008年 全国高等学校総合体育大会(埼玉) スローガン 「彩夏到来08埼玉総体」
- 2019年 WBS Cプレミア12 (台湾・韓国・東京)
- 2019年 ラグビーワールドカップ 2019日本大会(熊谷市)
- 2020年 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (東京・埼玉・さいたま市・川越市・新座市)

蝋 螂

幕末から明治に活躍した落語家、初代三遊亭圓朝。落語中興の祖として知られ、二葉亭四迷が「浮雲」を執筆する際に彼の落語口演筆記を参考にしたとされ、我が国の言文一致運動に大きな影響を与え、現代日本語の基礎を作った人物である。代表作は(現代ではもはや古典となつていますが)自身が創作した怪談斬「真景累ヶ淵」。江戸時代に流布していた説話「累ヶ淵」を元にしたもので、冒頭に「幽霊と云うものは無い、全く神経病だと云う事になりましたから」とあるように、当時の流行後「神経」を掛けて「真景累ヶ淵」という演題をつけている。

圓朝には創作落語が多く、また海外の文学作品を翻案したものもある。(モーパッサンやヴェイクトリアン・サルドウなど)当時の「新作」である創作が多いのには理由があり、斬のあまりの上手さに嫉妬した彼の師匠が、先回りして圓朝の演目を演じるといふ妨害を続けたため、他人の演ずることのできない自作の演目を上演するようになったというのである。そしてその演目はどれも名作とされ、死後百三十年経った現在では、多くの演者によって演じられているのである。

イングリッシュキャンプ

1学年は10月7日から11日までの5日間に亘って、「English Camp」という、文字通り全て英語によって行われる授業を経験しました。「Camp」という名がついていますが、実際は本校の教室を使用し、1限から6限までの時間を全て英語によって過ごすといった企画でした。昨年度は2泊3日の泊まりこみで行われたのですが、本年度は他学年の修学旅行や芸術鑑賞教室などの学校行事によって、学校全体の教室を自由に使わせていただけたといった有り難い状況が生まれたので、本校を使用しての実施ということになりました。

当初生徒たちは、5日間の英語漬けの日々に大きく怖気づいていました。ところが実際に始めてみると、グズグズ言っていたのは始めの2日間くらいで、3日目辺りからは講師の先生方にも慣れ、大いに楽しんでくれているように思います。それと同時に英語にも慣れ親しむことができ、最終日のプレゼンテーションでは生き生きと、英語による発表をしてくれていました。

この経験を是非とも、今後の多国籍社会におけるコミュニケーションの場へとつなげてもらえたらと思わされるような5日間でした。



秋のレクリエーション 東京デイズニールランド

十月九日(水)朝から青空が広がり、まさに秋晴れというにふさわしいこの日、三年生の向かった先は念願の東京デイズニールランド。

午前九時。改修工事の行われている正面ゲート前は入場を待つ大勢の人で埋め尽くされていた。ほぼ全員が集合時間に遅れることなく揃い、クラスの集合写真を撮り解散。そのあと午後三時の再集合までは自由時間になり、それぞれが友人とともにさまざまなアトラクションを楽しんだ。受験に向かう三年生にとって束の間の休息は高校生最後のいい思い出となった。



芸術鑑賞会

三年生の芸術鑑賞会は劇団四季「ライオンキング」であった。二十一年間上演し続けているロングランの作品である。浜松町から場所を移し、大井町の夏劇場での上演であった。演劇を見に行くことが初めての生徒がほとんどであり、鑑賞マナーも学んでほしいと考えていた。座席は、両サイドの最前列から十九列目が本校の座席であり、舞台を間近で観劇することができた。俳優ひとりひとりの細かい動きや、間近に見る動物の迫力や表現、音量に圧倒された。他にも、子役が素晴らしかった、生の演奏が効果的であった、映画やアニメより見応えがあった、などの感想があった。将来家族で行きたいという生徒も数名いた。鑑賞マナーも非常に良く、意義のある芸術鑑賞会となった。



修学旅行 in ニュージーランド

「オークランド」



2019年10月6日、「令和」初の修学旅行が実施された。参加生徒数344名がA団とB団に分かれ、1日差で旅立った。成田を出発してからおよそ11時間、オークランド空港に到着。最初の行程である博物館見学や昼食を終えると、早速3泊4日のファームステイに入った。各ステイ先でのいろいろな思い出を抱えてクラスメイトと「再会」したのは旅行も後半になった5日目。それからロトルア、オークランドでの見学や班別自由行動等の2日間を過ごし、7日目には無事に帰国する…予定だった。しかしながら、A団については帰国予定の12日、台風19号の影響で日本行きの航空機が欠航になったため、1日延泊するという本校修学旅行史上初の出来事に遭遇することになった。1日差で出発したはずのA・B団が、13日同日に、数時間の時間差で帰国することとなったのである。



何はともあれ、悲喜交々、おそらく大小含めれば様々なアクシデントもあったであろうこの修学旅行も、高校生活の大切な思い出の1つとしてそれぞれの生徒たちの心に刻まれていることは間違いない。

修学旅行 行程表

<2019年度A団10月6日(日)発>
<2019年度B団10月7日(月)発>

日次	月日(曜)	地 名	現地時間	交通機関	予 定
1	10/06(日) 10/07(月)	若葉駅周辺 成田第一ターミナル	12 : 30 15 : 30 18 : 30	バ ス NZ90便	成田空港第一ターミナルへ 山村国際高等学校様専用カウンターにて出国手続き 空路、オークランドへ 《機中泊》
2	10/07(月) 10/08(火)	オークランド 各ファーム	09 : 05 11 : 30 13 : 30 17 : 00	バ ス	到着後、オークランド市内観光へ オークランド博物館 昼食：ステイマオークランドホテル 見学後、ホストファミリーと対面、各家庭へ 《ファームステイ泊》
3	10/08(火) 10/09(水)	各ファーム	終 日		ファームステイプログラム 《ファームステイ泊》
4	10/09(水) 10/10(木)	各ファーム	終 日		ファームステイプログラム 《ファームステイ泊》
5	10/10(木) 10/11(金)	各ファーム ロトルア	09 : 00 11 : 00 12 : 45 15 : 00 17 : 30 18 : 30 19 : 45	バ ス	ホストファミリーとお別れ アグロドームでの羊ショー鑑賞(約90分) 昼食：スカイライン(約90分) (ゴンドラ乗車) ロトルア湖、ガバメントガーデン スーパー立ち寄り後、ホテルへ 夕食はマオリのハンギディナー コンサート(約120分) 《ホリデイ イン ロトルア泊》
6	10/11(金) 10/12(土)	オークランド	09 : 00 12 : 30	バ ス 徒 歩	バスにて一路、オークランドへ オークランド市内班別研修 (昼食は各自)(本部：OKギフトショップ) 夕食：グランドハーバー班別集合 バスにて、ホテルへ 《ノホテルエアポート泊》
7	10/12(土) 10/13(日)	ホテル発 オークランド航空 成田第一ターミナル	07 : 00 07 : 15 09 : 50 16 : 50	バ ス NZ99便	朝食は空港にておにぎり弁当を配布 空路、帰国の途へ

球技大会



11月13日水曜日 途中雨が降り始めた中でしたが、無事に全試合を行うことができました。各クラス一生涯懸命に練習した成果を出し、各コート学年を超えた白熱した試合が繰り広げられました。

◇各コート優勝チーム

- Aコート 3ー6 A
- Bコート 2ー8 B
- Cコート 2ー5 B
- Dコート 3ー2 A
- Eコート 3ー3 A
- Fコート 3ー2 A
- Gコート 3ー2 B

レシテーションコンテスト スピーチコンテスト 弁論大会

十一月三十日(土)、本校では伝統の行事となっている英語レシテーション・スピーチコンテスト並びに弁論大会を開催いたしました。

レシテーションコンテストは、九名の生徒が出場しました。英文を覚えて発表するというものですが、どの生徒も堂々と立派に発表ができていました。スピーチコンテストは六名の生徒が出場し、それぞれの意見を英語で発表するということでした。興味深い内容の発表で、練習の成果を発揮していました。

弁論大会では各担任の先生と国語科の先生より推薦された九名の生徒の出場でした。聴く人それぞれを深く考えさせる内容でありました。

◇レシテーションコンテスト

- 第1位 シャイニングスタープライズ 一年七組 佐藤 芙美江
- 第2位 オーナラブルプライズ 一年九組 後藤 舞桜

◇スピーチコンテスト

- 第1位 エターナルプライズ 二年七組 小林 彩夏
- 第2位 クリスタルプライズ 三年六組 デイトリッヒ永実理
- 第3位 オーナラブルプライズ 二年七組 中城 栄実

◇弁論大会

- 若紫賞 二年八組 早獺 夏希
「個人差への理解」
- 夕顔賞 三年六組 大野 愛莉
「いただきます」に思いを込めて」
- 後援会長賞 一年九組 後藤 舞桜
「そんな日常であるように」
- 国語科奨励賞 二年九組 長谷川 諒
「やらかし君」

坂戸市少年の 主張大会

本年度の少年の主張大会は本校より以下の二名の生徒が参加しました。

- 二年一組 栗城 有沙さん
『わたしの目指す姿』
- 二年八組 鵜澤 美羽さん
『国語を勉強する意味』

本番に向けて昼休みや放課後を使って練習を重ね、本番ではその成果を発揮することができました。栗城さんは自分自身の経験をもとに、将来になりたい職業を中心に理想の姿を述べました。鵜澤さんは題名の通り、国語を勉強する意義を様々な角度の視点から述べることができました。結果は、栗城さんが最優秀賞、鵜澤さんが優秀賞を受賞することができました。また、佳作として以下の生徒が受賞しました。

- 二年七組 松野 七海さん
『今後の眼鏡の可能性』

活躍している部活動

吹奏楽部

東日本学校吹奏楽大会初出場 銀賞
管楽合奏コンテスト全国大会初出場 最優秀賞
西関東吹奏楽コンクール 2年連続金賞



実力のある23名の新入生を迎え本校吹奏楽部も大所帯となった。気合の鉢巻を巻き、生き生きとした音楽活動を継続することを心掛けた。何とんでも乗り越えたい県大会では熱気あふれる演奏をすることができ、大きい喚声と拍手を頂いた。演奏後の部員達は成果を出し切れた様子で、堂々と埼玉県1位の高みを掴むことができた。西関東大会では2年連続の金賞を受賞、そして夢の舞台である東日本学校吹奏楽大会に出場を果たした。東日本では渾身の演奏をすることができ銀賞を受賞した。さらには管楽合奏コンテスト全国大会も初出場をし、1、2年生のみでチャレンジした。結果は最優秀賞。3年生の悔し涙を早速晴らしてくれた。全員で必死に駆け抜けた1年となった。今後も心に響く演奏を深く追求していきたい。

バトントワリング部

今年度もバトントワリング部は、各種大会・地域のイベント等、積極的に活動をしてきました。

- 全国高等学校総合文化祭
埼玉県代表として佐賀総文出場
- 第45回マーチングバンド
バトントワリング
埼玉県大会 金賞
- 第54回バトントワリング
関東大会 金賞
埼玉県高等学校
マーチングバンド
バトントワリング大会
- 総合優勝
バトンの部
- 1位 埼玉県知事賞
サムフリップの部
- 1位 小倉杏果
3位 横江 美咲
- 第47回バトントワリング
全国大会 金賞



来年度、高知で行われる全国高等学校総合文化祭をはじめ地域のイベントの出演も決まっております。初心を忘れずに毎日活動していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ致します。

生物部

生物部では抗菌と腸内フローラの研究をしている。研究成果は「高校生バイオサミット(山形)」や「日本進化学会(札幌)」などで発表している。

この成果発表には、ポスター発表と論文発表がある。前者は審査員を前にしたプレゼンが試され、後者はいかに高校生らしい研究がなされたかである。生物部は、この両者で入賞を果たしている。特に「つくばサイエンスエッジ」では、「日本語ポスター賞(第一位)」を受賞した。一方、「坊っちゃん科学賞」では「優良入賞(第三位)」を受賞した。

今月末の「サイエンスキャッスル関東大会」や三月末の「ジュニア農芸化学会(福岡)」でも上位入賞を目指している。詳細は本校ホームページをご連いただきました。

野球部

7月10日、第101回全国高等学校野球選手権埼玉大会が開幕した。

1回戦、対秩父農工科学高校に12対2、2回戦、児玉高校に31対1、3回戦、川越総合高校には6対0で勝つことができた。4回戦では、Bシードの東農大三高に、3対2で勝利し接戦をものにする事ができた。5回戦、チームカラーが真逆の市立浦和高校と対戦し、

苦しい展開ではあったが11対7で勝利し、初めてのベスト8進出を果たした。準々決勝では、花咲徳栄高校にコールド負けを喫したが、5試合を勝ち抜き、野球部史上初の8強進出を果たした。

炎天下の中、応援して下った保護者、地域の方、教職員在校生の皆様方、ありがとうございました。

イラスト部

イラスト部は部の名称の通り、イラストはもとより、水彩、油絵、日本画等、幅広いジャンルで創作活動を行っています。毎春秋に行われます私学文化祭は、私学の文化部の県大会でもあります。そんな中、ポスター原画コンクールで二年生の木下実隠さんが最優秀賞を受賞し、ポスターとパンフレットの表紙になりました。ポスターは県内の私立高校をはじめ、開催場所である埼玉会館近隣の公機関及び公立中学校にも掲示されました。創部以来、最大の快挙となりました。



ダンス部

11月4日、「第1回日本高校ダンス部選手権公式選抜大会グランプリ決定戦」に出場。協会が全国から選抜した30校のみが出場できる大会であり、過去3年間の大会成績が、その選抜の基準とされている。出場できることは名誉であり、大変喜ばしいことであった。夏に多くの時間を費やして練習を積み重ねてきた作品ではあったが、3年生は受験生ということで練習や本番への参加が難しいこともあった。また、今回の大会は人数制限がないため、1、2年生の全部員を含む54人で出場することに挑戦した。大人数での振りの統一など課題は多かったが、本番、54人が舞台で舞う姿は圧巻であった。演技後の審査員からのコメントも非常に温かいものであり、第4位を獲得することができた。



入試広報部より

オープンキャンパス

●令和最初のオープンキャンパスは七月六日(土)開催。

学校ミニ説明や入試の傾向と対策などに多くの方が聞きに来てくれた。また、運動部・文化部・生徒会のそれぞれの企画に参加してもらい山村国際高校を知ってもらうことができた。

●本年度の体験学習・体験部活は、夏休みの中学生全学年を対象に、八月二十一日(水)、二十二日(木)の二日間行われた。

講座は英検対策ゼミ、剣道部、よさこい部、居合道部、調理部、生物部、バトントワリング部、バレーボール部、野球部が内容を凝らし実施された。

各講座、各部活では最初緊張していた中学生も担当の先生や高校生とのやり取りの中で緊張もほぐれ、興味を持つて取り組んだり、また真剣な姿を見ることもできた。山村国際の生徒や先生方との交流の中で進路選択の一つとして考えてもらうことができたと感じた。

来年度に向けて、さらに多くの中学生に参加してもらい山村国際に興味を持ってもらえる講座を計画しているところです。



事務室だより

本年度の事務事業も、皆様のご理解、ご協力をいただき順調に推進されており心からお礼申し上げます。

本校においてもこれから、教育や学校・学校事務を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、厳しい状況が続いております。このような時代だからこそ、一人で悩むより、職員・保護者皆様の知識・知恵を結集し、問題解決に向け協議し、学校運営のより良い方向性を探っていければと思います。職員が何をすべき時代なのかをよく考え、その一歩として、職場や保護者・地域間とのコミュニケーションを活発に行い、情報の共有化を図ることが、皆様の元気や職場の活気ある原動力につながると思います。ひとり一人がコミュニケーションを取りながら、やりがいのある職場環境にしていきたいと思っております。

「奨学のための給付金」について、国及び県に提出し、結果を待っている状態です。

保護者の皆様は、この3点の補助金申請について、「きちんと提出したかを確認したい」「出し忘れてしまい、今から提出したい」もしくは「家計の急変があった」などについてご連絡をいただければ早速に対応致しますので、お気軽に事務室までご連絡ください。

順調に処理が完了し、県から補助金が出ましたら、初回申請の方へは、来年の2月末位に現在届け出のある授業料振替口座に振込処理をさせていただく予定です。届け出口座の変更等ありましたら、早めにお知らせください。

本校は生徒が学校で安心して勉学・部活動に励めるよう、就学支援金及び父母負担軽減事業に私学の中でも熱心に取り組んでいる学校です。

遠慮せず積極的に相談をお願いいたします。

現在事務室では、皆様に今まで提出いただきました「父母負担軽減」就学支援